

# 1 明星塚古墳

地元のお参り  
スポット



# 2 愛宕山古墳群

火の神様!?  
竹原の愛宕山



# 3 栗原慈母観音堂

石碑はどこから  
もってきた!?



# 4 孝謙天皇宮

昔はすもうとりも  
来ていた!?



# 5 竹原城跡

戦いに敗れ  
激戦のあと...



# 6 鹿島神社

年に1回の  
大イベントとは?



# 7 大正地池

昔は  
泳げていた!?



これから、A 班の成果発表を始めたいと思います。  
私は小美玉市役所市民協働課 秋山と申します。  
よろしくお願いいたします。

まず私たちは、竹原地区の地図を作成するにあたり  
「各所を実際に歩いて気付いたこと・感じたことをまとめるウォッチングマップ」  
をテーマとしました。

まず、最初に私たちは花野井区にある「明生塚古墳」<sup>みょうしょうづかこふん</sup>へ向かいました。

傾斜がきつい階段を上ると古墳と祠が目の前に見え、古墳の中央付近は草木  
で覆われており立ち入ることは出来ませんでした。祠の周辺は草木がきれいに刈られており、祠への整備の手が行き届いている様子が見られました。

また、明生塚古墳<sup>みょうしょうづかこふん</sup>では祠へのお参りを実施するなど、地域で親しみのある場所としても知られており、古墳の形がひょうたんのようになっていることから、地元では「ひょうたん塚」とも呼ばれているそうです。私は実際に訪れた事と相まって、この場所に親近感と愛着を感じました。普段は見逃してしまうような、地元の小さなスポットでも注目すると魅力的なスポットだと再認識でき、実際に現場に行くフィールドワークだからこそ湧き上がってきた想いだと感じております。

2 つ目に、私たちは同じ花野井区にある「愛宕山古墳群」へ向かいました。  
美野里地区に現存する古墳としては最大級のものであり、実際に訪れると、広範囲にわたって草木に覆われていましたが、資料で見ると想像以上に大きい古墳でした。

昔、移動手段が限られていた時代に、旧美野里町から岩間へ向かう際に、愛宕山古墳群に向かって旅の安全を願ってお祈りをささげる風習もあったそうです。当日は確認が出来ませんでした。古墳の頂上部分には火の神が祀られているとされる愛宕神社があり、ここで無事に帰ることを祈りながら向かったのだなと思いました。実際にフィールドワークで長距離を歩いた身として、当時の旅人の気持ちに思いをはせることが出来たと思います。

私は、保田孝雄と申します。  
よろしく願いいたします。

3つ目に、私たちは「栗原慈母観音堂」へ向かいました。

栗原慈母観音堂は、希望ヶ丘運動公園にあります。

また、栗原慈母観音堂の隣には、小美玉市指定の文化財である栗原掃部衛門碑(くりはらかぶえもんひ)があります。この石碑は、竹原氏の部下で四天王の一人と言われたという栗原氏が父母の供養のためにたてられたといわれています。

観音堂と石碑は、もともと別の場所にあり、希望ヶ丘での様々な開発に伴い、現在の場所に移転されました。現在は、坂下の町内の方々が供養のためにお参りしに来るそうです。

詳細は、記念碑に記載されておりますので、ぜひ、あしを運んでみてください。

4つ目に、私たちは「孝謙天皇宮」へ向かいました。

孝謙天皇宮は、茨城空港アクセス道路から少し中に入った場所にあります。

奈良時代の僧侶の弓削道鏡が孝謙天皇をしのび建てたと伝えられています。

春は桜が綺麗で、11月頃はイチョウが綺麗です。また、9月頃に開催される例祭では、奉納相撲も開催されるみたいですので、ぜひ、あしを運んでみてください。

因みに、相撲については、昔は各地から力自慢の人たちが大勢集まっていたそうです。

5つ目に、私たちは「竹原城跡」へ向かいました。

竹原城跡は、園部川に面した場所にあります。

竹原城は、府中城の支城として築られました。しかし、常陸平定を目指す佐竹氏により攻められ滅亡しました。佐竹氏は、常陸太田城の城主です。

竹原城は、現在、土塁や堀が残っているだけです。本丸跡に案内板が設置されています。

少し離れた所にある羽黒古墳の駐車場が利用できますので、ぜひ、あしを運んでみてください。

私は小美玉市役所小川総合窓口課 木村と申します。  
よろしくお願いいたします。

6つ目に「鹿島神社」へ向かいました。

鹿島神社では年に一度、流鏝馬が行われており、東京オリンピック開催前の頃まで行われていました。現地へ訪れた際には写真のような一直線に伸びる参道があり、当時の風景が容易に想像できるほど、実際に行われていたことが想像できました。流鏝馬に使用された馬は、竹原地区の農耕馬が使用されていたそうです。

最後にA班は、大正地(おおしょうぢ)池(いけ)へ向かいました。大正地池は昔、泳げるほどきれいな池だったとのことで、竹原コミュニティの方々には子供のころ、池で泳いだり、釣りをして遊んでいたらしいです。私たちが現地へ訪れた際、池で釣りをしていた方が見られ、現在は釣りスポットとして釣り人には欠かせない場所であると感じました。

大正地池の全体を見渡すと、景色もよく当日の天気も相まって気分が晴れやかになる場所でした。

今回のフィールドワークや地図作成を通して、竹原地区に関心を持つことはもちろん、私が住んでいる地域にも関心を持つようになりました。神社の歴史的な造りを間近で見させていただいたり、竹原地区コミュニティの皆さまから、昔の出来事を詳しく聞くことが出来たりして、貴重な体験をすることが出来ました。A班は、ほとんどのスポットを出来る限り歩いて回ったので、歴史的建造物以外にも竹原地区の自然に触れることも出来ました。

プロジェクトに参加したことで、コミュニティの皆さんや参加者の方々と繋がることができました。

以上でA班の成果発表を終わりにします。ご清聴ありがとうございました。